

授業科目

ソーシャルワーク演習I

担当教員名 鈴木 昭	対象学年	1・2	対象学科	社会福祉学
	開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

授業の概要

人間の権利について概観後、福祉サービス、社会保障制度にかかる法的な構造を理解し、利用者の法的な権利を擁護し、権利侵害に対処・防止する実践力の基礎を修得するとともに意思決定の支援について個別・具体的に学ぶ。併せて人々の権利が大切にされる地域社会づくりに果たすソーシャルワークの意義とその方法について理解を深める。

授業の目的

以下に示した個別・具体的な学習主題に即して、社会福祉援助の体系（1 援助技術（個人＝ケースワーク、集団＝グループワーク、地域＝コミュニティワーク）、2 調査（個人・集団・地域のニーズ把握、ニーズキャッチの構造）、3 援助計画、4 運営管理、5 スーパービジョン）について包括的に学ぶとともにソーシャルワークとコミュニティ心理学の近似性について触れ、共通理解を深める。

学習目標

- 1 人間の権利について概説できる。
- 2 社会福祉サービス・社会保障制度にかかる法的な構造について説明できる。
- 3 典型的な法的権利侵害場面に対して、利用者の法的権利の侵害を防止・回復する方法について説明できる。
- 4 児童虐待、DV被害、消費者保護、公害と水保病等の演習事例をもとに意思決定の支援について個別・具体的に説明できる。
- 5 地域介入の理論と方法について概説できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	人間の権利（1）権利の概念	講義・質疑・討論	鈴木 昭
2	人間の権利（2）日本国憲法	講義・質疑・討論	鈴木 昭
3	人間の権利（3）世界人権宣言、国際人権規約	講義・質疑・討論	鈴木 昭
4	人間の権利（4）社会正義と倫理	講義・質疑・討論	鈴木 昭
5	権利擁護に関する法律（1）民法（能力、契約、成年後見）	講義・質疑・討論	鈴木 昭
6	権利擁護に関する法律（2）行政法（行政処分、不服申立）・国家賠償法	講義・質疑・討論	鈴木 昭
7	権利擁護に関する法律・制度（3）虐待・暴力防止法（児童・DV）とその制度	講義・質疑・討論	鈴木 昭
8	権利擁護に関する法律・制度（4）虐待防止法（高齢者・障がい者）とその制度	講義・質疑・討論	鈴木 昭
9	権利擁護に関する法律・制度（5）消費者保護の法律とその制度	講義・質疑・討論	鈴木 昭
10	権利擁護に関する法律・制度（6）公害被害者への補償・賠償の法律とその制度	講義・質疑・討論	鈴木 昭
11	法的権利侵害とその対処（1）児童虐待	講義・質疑・討論	鈴木 昭
12	法的権利侵害とその対処（2）DV被害	講義・質疑・討論	鈴木 昭
13	法的権利侵害とその対処（3）障がい者虐待	講義・質疑・討論	鈴木 昭
14	法的権利侵害とその対処（4）高齢者虐待	講義・質疑・討論	鈴木 昭
15	法的権利侵害とその対処（5）消費者被害	講義・質疑・討論	鈴木 昭
16	法的権利侵害とその対処（6）公害と水保病	講義・質疑・討論	鈴木 昭
17	意思決定の支援についての演習（1）児童虐待を事例に	演習	鈴木 昭
18	意思決定の支援についての演習（2）DV被害を事例に	演習	鈴木 昭
19	意思決定の支援についての演習（3）障がい者虐待を事例に	演習	鈴木 昭
20	意思決定の支援についての演習（4）高齢者虐待を事例に	演習	鈴木 昭
21	意思決定の支援についての演習（5）公害と水保病を事例に	演習	鈴木 昭
22	危機理論と危機介入（1）	講義・質疑・討論	鈴木 昭
23	危機理論と危機介入（2）	講義・質疑・討論	鈴木 昭
24	危機理論と危機介入（3）	講義・質疑・討論	鈴木 昭
25	ソーシャル キャピタルと地域保健医療福祉（1）	講義・質疑・討論	鈴木 昭

26	ソーシャル キャピタルと地域保健医療福祉（２）	講義・質疑・討論	鈴木 昭
27	コレクティブ エンパワーメントとソーシャルワーク（１）	講義・質疑・討論	鈴木 昭
28	コレクティブ エンパワーメントとソーシャルワーク（２）	講義・質疑・討論	鈴木 昭
29	コミュニティ心理学と多職種連携	講義・質疑・討論	鈴木 昭
30	権利擁護と権利侵害に対処するソーシャルワークの力	講義・質疑・討論	鈴木 昭

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	授業開始時に指定する					
参考書	授業開始時に指定する					
その他の資料						

評価方法

討論の状況、課題レポートの提出等によって評価します。

履修上の留意点

各自の経験や知見を大切に、事前学習、レポート課題の提示・処理を踏まえて演習を進めます。主体的・積極的な参加を期待します。使用テキスト・文献はその都度紹介します。

この科目は、認定社会福祉士の認定単位の対象となる共通専門科目の「権利擁護・法学系科目」としての2単位を含むことが、認定社会福祉士認証・認定機構より認められた科目です。

オフィスアワー・連絡先

授業終了後

mail:akira-suzuki@nuhw.ac.jp